学校番号	３１３

令和３年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ⅱ	単位数	１単位	年次	３年次（前期）
使用教科書	「数学Ⅱ」　（数研出版）						
副教材等	４STEP 数学Ⅱ＋Ｂ（数研出版）Focus GoldⅡ+B（啓林館）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

微分法と積分法について理解し,知識の習得と技能の習熟を図り,事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに,それらを積極的に活用できるようにする。

2　学習の到達目標

・前期中間までは、理論体系の認識を促し定着を図るため問題演習に取組み、学力の伸長が実感できる授業形態をとる。
・前期期末考査までは大学受験に適応した数学全般の演習指導を行う。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:数学的な見方や考え方	c:数学的な技能	d:知識・理解
観点の趣旨	微分･積分に関心をもつとともに,それらを事象の考察に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。	事象を数学的に考察し表現したり,思考の過程を振り返り多面的･発展的に考えたりすることなどを通して数列における数学的な見方や考え方を身につけている。	微分・積分において事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身につけている。	微分・積分の基本的な概念，原理・法則などを体系的に理解し，知識を身につけている。
評価方法	授業への取り組みを観察し､ノート提出によってその状況を把握する。	授業中の発問への応答や､定期考査の答案の内容で評価する。 また､必要に応じて小テストを実施する。	授業中の発問への応答や、定期考査の答案の内容で評価する。 また、必要に応じて小テストを実施する。	授業中の発問への応答や、定期考査の答案の内容で評価する。 また、必要に応じて小テストを実施する。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期中間	微分法と積分法	・微分法 関数のグラフと方程式・不等式 ・積分法 不定積分 定積分 面積	○	○	○	○	a:授業中の応答の積極さ b:第６章(微分法・不定積分・定積分)の理解度 c:第６章（面積）の理解度	・授業中の応答 ・ノート提出 ・テスト結果 ・課題提出
前期期末	入試問題演習	入試問題演習 センター試験数レベルの問題で数ＩＡ分野のものを教材とする	○	○	○		a:解答への取り組み姿勢 b:問題の理解度 c:解答方法	・授業中の応答 ・テスト結果 ・課題提出

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：数学的な見方や考え方
c：数学的な技能　　d：知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。